



## 7・8月の園だより

学校法人志賀学園

松の実こども園

令和6年7月1日

グリーンカーテンの朝顔の蔓が太陽の光を浴び、ぐんぐんと伸びています。

昨年度の園だよりでもお知らせしましたが、第一生命財団様による「緑の環境プラン大賞」という緑豊かな町作りを進める環境プランに、松の実こども園が応募しまして、幸いなことに選考していただきました。この度助成を受け、園庭のプール脇（池周辺）に木々や草花、野菜などの植栽を行いました。助成を受け明治記念館での表彰式では、皇室より佳子親王殿下様から、「みどりは、私たちに潤いや安らぎ、季節の移ろいを感じさせてくれます。また、気候変動やヒートアイランド現象を緩和し、多様な生き物を育み、防災にも大切な役割を果たしています。」と、お言葉が述べられました。シロツメグサも根付いたところで子どもたちに開放すると、四ッ葉のクローバー探しや虫探し、築山の井戸から池に流れる水を利用して畑の野菜に水やりをしたり、裸足で水遊びを楽しんだりしていました。先日、東京より第一生命財団の方々がお見えになって、子どもたちが自然と触れ合っている様子取材していただきました。畑では、「なすの葉っぱはザラザラしているね」「きゅうりの黄色い花が咲いているね」「ブルーベリー、早く食べたいな！」など、お話ししていました。これから、年月をかけて志賀学園の園章（シンボル）でもあります黒松、柏餅作りに利用する柏の木、木登りができるクスノキ、香り豊かな金木犀など、緑豊かな木々が育ち、五感をフルに活用しながら、子どもたちの豊かな感性が生まれ、より良い成長につながっていくことを願っております。

今年度入園されました保護者の皆様にも、「都市緑化機構 HP (<https://urbangreen.or.jp/info-grant/3hyosho/midorinowa6-koryunotsudo-hokoku>) 又は、「佳子さま・みどりの『わ』交流のつどい」にて検索していただき、本事業の趣旨を理解しながらご覧いただけたらと思います。

さて、7月7日は七夕です。子どもに分かり易く伝えるために、簡単に七夕物語のお話をまとめてみました。天の川のほとりに機織りが上手な織姫と、働き者の彦星という牛飼いが住んでいました。2人は結婚しましたが、楽しくて遊ぶことに夢中になり、すっかり仕事をしなくなっていました。それに怒った天の神様は、2人を天の川を挟んで離れ離れにしまいました。彦星に会えなくなった織姫は悲しみにくれ、毎日泣いて暮らしていました。そんな織姫をかわいそうに思った天の神様は、一年に一度、七夕の日に、織姫と彦星が会うことを許してあげたというお話です。七夕の夜、お子様と一緒に伝説の星をさがしてみるのも素敵ですね。園では、これから七夕飾りを行います。短冊には「〇〇が欲しい」と欲しい物を書くのではなく、「〇〇になりたい」「ピアノが上手に弾けるようになりますように」「野球選手になりたい」など、技術・技能の向上を願ったり、夢や願い事を書くことを伝え笹飾りをします。園にお立ち寄りの際は是非ご覧ください。